

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	悪性胃十二指腸閉塞に対する治療成績の検討 (承認 No. 2025-086)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	外科センター長 西田保則
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>悪性腫瘍により胃や十二指腸が閉塞し、嘔気や嘔吐などの症状により食事摂取できなくなる状態を引き起こすことがあります。それを悪性胃十二指腸閉塞といい、生活の質(QOL)は著しく低下し、悪性腫瘍に対する治療が継続できなくなるなど、大きな影響を及ぼします。治療には、外科的胃空腸バイパス術と内視鏡的ステント留置術がありますが、個々の患者さんに対する治療の選択基準については結論が出ていません。</p> <p>本研究は、当院での外科的胃空腸バイパス術と内視鏡的ステント留置術の成績を比較検討し、適切な治療選択につなげることを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	2012年1月から2025年6月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん 上記期間内に当院外科センターにて、悪性胃十二指腸狭窄に対する外科的胃空腸バイパス術、または内視鏡的ステント留置術を受けられた患者さん</p> <p>●利用する情報 電子カルテから得られる患者背景(年齢・性別・BMI・既往症) - 悪性疾患の状況、治療歴 - 治療前血液検査(Alb・白血球数・CRP値) - 手術因子(術式・出血量・手術時間・輸血の有無) - 治療後経過(合併症・術後在院日数・化学療法実施の有無) - 治療前後の経口摂取状況 - 生存期間</p> <p>●研究期間：2025年11月11日～2027年3月31日</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	相澤病院 外科センター長 西田保則 Tel : 0263-33-8600(代表)